

9. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる やや良くなる	-	-
		スーパー（店長）	・節約感が非常に強く、大容量の徳用ヨーグルトは売れないが、小さいサイズのヨーグルトはよく売れる。25日の給料日にはドンと売れるが、その2～3日後には売れなくなる。昨年と比べて、寒くなるのが少し早いので、冬物の動きが出てきており、売上の上昇も期待できる。
		衣料品専門店（経営者）	・気温も次第に寒くなってきており、追加経済対策が年内ということになれば、消費者に対して還元があるようなので、年内限りだと思われるが、勢いづいて良くなる。
		その他専門店〔酒〕（経営者） タクシー運転手	・2～3か月先は12月の年末商戦があって、売上也良くなる。 ・2～3か月先は、ボーナスの支給月で忘年会等の時期になるので、やや良くなる。しかし、今まで市内でイベント等があったが、客の動向は例年になく悪い。
変わらない	変わらない	百貨店（販売促進担当）	・競合店の新規オープンの影響が薄れてきたが、また年内に別の新規オープンが控えているため、現状と変わらない。
		スーパー（店長）	・原油価格は若干下落してきたが、株価低迷による銀行への打撃が、中小企業にも影響を及ぼすため、消費は変わらない。
		家電量販店（営業担当）	・客の反応も鈍く、期待通りの数字になるのは難しくなっている。プラス要因を見つけにくく、年末までは現状維持が続く。
		乗用車販売店（従業員）	・原油の高騰は収まっているが、ガソリン価格の値下がりがかさいため、状況は変わらない。
		通信会社（管理担当）	・通信業界において新端末が販売開始されるものの、景気回復の遅延及び端末サイクルの長期化等により、大きな変化は期待できない。
やや悪くなる	やや悪くなる	商店街（代表者）	・株価が不安定なため、消費に金が回らない感じが強まる。
		商店街（代表者）	・毎日のように経済、政治状況が厳しいということが、新聞紙上に出ており、消費者マインドが高まらず、買い控え状況が今後も続く。個人の収入も減っており、クリスマス商戦、年末年始、冬物商戦が大変厳しくなる。
		一般小売店〔酒類〕（経営者）	・例年、年始需要が落ち着くと、2月に掛けてぐっと飲食店の売上が下がる。
		スーパー（店長）	・株価や為替の影響が、企業、個人に出て、購買力が弱まってくる可能性がある。
		スーパー（企画担当）	・株価、政局共に好転要因がなく、原油価格が下がってきても消費は活発にはならない。
		コンビニ（エリア担当）	・先の景気が見えず、金の価値がどう変化するかもわからないため、身の回りの品、食品まで消費を手控えているのが見える。景気対策を打っても、すぐに解決しない。
		コンビニ（総務）	・食品の信用に対する不安が強くなり、食品の買い控えが更に加速する。また、円高や株価の下落で経済が不安定になっていることもあり、家庭消費の冷え込みは広がっていく。
		衣料品専門店（経営者）	・来客数減少、客単価の低下が続いている。特に、従来主要客層であった60～70歳代の女性の来店頻度の低下が顕著である。
		乗用車販売店（従業員）	・ガソリン価格がやや下がり、明るいニュースと期待した矢先、株価急落と円高で販売業も打撃を受けて、年末商戦まで響くのは必至である。
		乗用車販売店（営業担当）	・10～11月は前年も非常に悪かったが、今年も今月の動向から大変厳しい年末になる。
		一般レストラン（経営者）	・最近の為替不安定など経済の不安要素は大きく、賞与の減額、出店の激化により来店数減少が予想される。
		都市型ホテル（経営者）	・一番、景気の影響を受けるレストランの動きが悪い。宿泊、宴会の予約状況も、ここに来て急に悪くなってきている。
		旅行代理店（従業員）	・例年1～2月は旅行の低調な時期であるが、特に今年は、客に景気が悪いという認識があり、旅行は伸びない。
		通信会社（社員）	・金融不安や物価上昇による製品価格の高騰などが、身近なところにも影響し始めているため、客も商品の購入には、以前より慎重になっている。
ゴルフ場（従業員）	・景気の下降が全体に広がっているなかで、当方の業界にも影響が及んでおり、今以上に厳しくなる。		

	設計事務所（所長）	・地元の建設関連業者で、リストラを始めているところが多 くある。	
悪くなる	一般小売店〔乾物〕 （店員）	・金融恐慌が实体经济に影響を与え始めるのではないかとい う恐怖心があり、客は節約をして金を使わなくなる。	
	一般小売店〔酒〕（販 売担当）	・益明けから、料亭・割烹等の高価格業態の来店数、客単価 が下がっているだけでなく、居酒屋・焼鳥の大衆業態まで減 少しており、外食費は更に削られる。	
	百貨店（営業担当）	・年末に掛けて、賞与額の減少など不安要素がたくさんあ り、まず自分の生活を確保するため余計な物を買わないとい うことで、景気はまだ悪化する。	
	百貨店（営業担当）	・食品の催事及びデイリーは比較的堅調だが、単価の低下が 見られる。ヤングキャリア・紳士衣料等のファッション商品 は、点数、単価共に低下して動きが鈍く、美術、呉服等の不 急品も苦戦している。今後もこの傾向が続く。	
	百貨店（売場担当）	・所得が増えないなかで、生活必需品の値上げが相次ぎ、ま た経済情勢・政情が不安定であるなど、先行きに不安な要素 が多く、ますます財布のひもは固くなる。	
	家電量販店（店長）	・経済関連の悲観的なニュース情報によって、消費マインド がより低下し、客の財布のひもは、ますます固くなる。	
	乗用車販売店（管理担 当）	・景気の下降、企業業績の悪化、賞与等の減額により、購入 資金は窮屈になる。	
	その他飲食〔ファース トフード〕（経営者）	・景気の後退による影響で、一番先に支出を減らすのが外食 であるため、ますます景気は悪くなる。	
	観光型旅館（経営者）	・景気の先行き不安が大きいため、旅行関係はぜいたくであ り、日常に必要なものに金を使うということで、今より悪く なっていく。	
	タクシー運転手	・冬のボーナスが減少するというような報道もあった。そう いうことがあると、ますますタクシーに乗る客が少なくな る。冬期、年末にかけて忘年会も少なくなり、悪くなる。	
	観光名所（職員）	・社会情勢が悪くなっているなかでの円高進行により、外国 人の観光旅行者も減ってくる。	
	美容室（経営者）	・不景気感が強く完全に消費意欲が減少している。	
設計事務所（職員）	・世界規模の株価下落による实体经济への影響が発生してい ることから、建設投資は一段と冷え込み、更に悪くなる。		
企業 動向 関連	良くなる	-	
	やや良くなる	パルプ・紙・紙加工品 製造業（経営者）	・油に続いて、主原料のパルプや古紙の価格が下落してきて いるので、小売業への価格転嫁は難しいものの、コストを抑 えられそうなので、少し採算ベースが改善してくる。
	変わらない	建設業（経営者）	・政府の減税、優遇措置の対策も、2～3か月では効果は現 れない。
	やや悪くなる	繊維工業（経営者）	・特に百貨店の売上が悪いようであるが、他の小売店でも買 い控えが目立っており、当分は全体的に消費低迷が続く。
		木材木製品製造業（経 営者）	・2～3か月先は、物価が低下傾向であり、住宅優遇税の延 長、ドル安・円高による原材料の下落といった良い材料も見 られるが、全体としては下向き方向である。
		電気機械器具製造業 （経営者）	・機械、プラントを製作している。営業努力により受注は あったが、海外向けは延期、国内は契約の段階で「少し待っ てくれ」といったような先延ばしの現象が出ている。金融、 景気の悪さに左右される。
		通信業（営業担当）	・取引先から、株価の歴史的な大暴落、円高などの影響で、 年末、年始を迎えても個人消費が急激には回復せず、春以降 にならないと難しいとの話をよく聞く。
		不動産業（経営者）	・最近の株価の変動、その他混乱した状況のなかで、不動産 業界は先行きが全く見えない。同業者は、同じような状況に 陥っている。
		広告代理店（経営者）	・今後2か月間、大型ショッピングセンターの出店ラッシュ 対策等で、大型店舗の特別販促広告は見込めるが、多くの得 意先は売上不振と昨今の不況マインドで広告費削減の話が多 くなっており、景気はやや悪くなる。
	悪くなる	一般機械器具製造業 （経理担当）	・景況感が一段と厳しさを増しており、ユーザーのほとんど がマイナス思考となって先行きに不安を感じており、機械の 代替等新たな資金負担に対して慎重になっている。
		建設業（総務担当）	・資材関連は、今後も弱含みに推移する。受注競争は、更に 激しさを増し、収益面では依然として厳しい状況が続く。
		輸送業（経営者）	・株価の暴落や食品に対する不安など、マイナス要素しが浮 かんでこない。自分の身は自分で守れ、という意識からま す買控えや節約、節約意識が強まる。

		公認会計士	・各業種の経営者と話をすると、将来の資金繰りに対して不安を持っている。特に銀行からの借入れが多い企業にとっては、銀行からの借入れが今後もスムーズに行くのかどうか懸念している。将来に対して、売上が伸びるという、良い話は一つないという状況である。
雇用 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	-	-
	変わらない	-	-
	やや悪くなる	職業安定所（職員）	・バブル期に拡大した事業を整理再編しようとする動き、あるいは希望退職の募集などがあるが、不況型倒産が増えつつあるなかで、雇用環境がますます悪化していく。
		職業安定所（職員）	・有効求人倍率は過去1年で最低となった。企業の採用意欲の低下がパートにまで及んでおり、今後もこの傾向がしばらく続く。
		民間職業紹介機関（所長）	・相変わらず建設・土木関係の企業は原油・原材料高騰のため経営状況が思わしくなく、資金繰りに苦慮している企業が増えている。
	悪くなる	求人情報誌製作会社（編集者）	・景気後退で、中途採用がまず大幅に減少する見込みであり、正規、非正規雇用問わず、業況を反映する中途採用は厳しくなる。新卒は「投資」要素が強い性質なので、悪い影響は最小限にとどまる見込みである。
求人情報誌製作会社（従業員）		・米大手証券会社の問題発生以降、大手の県外企業からの募集が減少傾向にある。	
新聞社〔求人広告〕（担当者）		・生活防衛のため、広告を行っても売れない状況が続いており、売り出しやイベントに打って出るのに消極的な傾向は一段と強まる。求人広告等は、かなり厳しくなる。	